



『卓話：組織で働いて学んだこと』 高橋 尚子 様

【会長挨拶】 北村 淳 会長

今年もあと一ヶ月となってきました。急に寒くもなってきたので風邪など引かないよう体調管理に気をつけましょう。今日は最近の出来事のご報告です。この時期になるとロータリーでの次年度に向けての準備が始まります。



まず1つ目は、今年からですが本日2024-25年度第1回会長エレクト研修セミナー(PETS)がオンラインにて開催されています。昨年までは3月に2日間開催されていたのですが、今年は2回に分けて第1回目をオンラインで本日の開催となっています。PETSは次年度会長となるには必須の研修セミナーですので、今頃遠藤会長エレクトは受講していると思います。

2つ目は、第2750地区の話ですが、ガバナーノミニー・デジグネート確定宣言がありました。昨日決まったばかりの話です。「ガバナーノミニー・デジグネート(2026-27年度ガバナー)に東京クロスシティロータリークラブの武藤英正(むとう ひでまさ)君を指名した」とのことです。東京クロスシティロータリークラブは昨年までは東京世田谷南ロータリークラブでした。

他はクラブの話題です。昨日(11月28日(火))から明星大学で経済特講が開催されています。日野ロータリークラブの3週連続の講義で、昨日は小倉会員、来週は山下まんぼう会員、再来週は石場会員の講義となっています。多摩地域で起業するというのがテーマとなっています。来年1月は職業奉仕月間です。1ヶ月を通して職業奉仕について考えを深めて行きたいと思っています。そこでの話題に繋がればと思っていますので、時間のある方はご参加をお願いいたします。

最後に、先週の土曜日に日野市少年軟式野球連盟の令和5年度納会に参加してきました。4年ぶりの開催ということでした。市内20チームの監督・コーチが集まり各チームの紹介などもあり大変盛り上がった会でした。そして翌日は秋季大会閉会式ということで小倉会員に出席をしてもらいました。ありがとうございます。

本日も1日よろしくお願いいたします。

【幹事報告】 田中 くに子 前幹事

① 東京八王子東ロータリークラブ、東京町田サルビアロータリークラブより、例会場又は事務局移転のお知らせが届いております。

② 東京八王子西ロータリークラブより、12月例会予定が届いております。

③比国育英バギオ基金より、「バギオだより」が届きましたので、各自のメールボックスに入れております。



《例会プログラム》

【司会】

佐保 勝彦
例会向上委員

【開会点鐘】

北村 淳 会長

【ロータリーソング】

ソングリーダー
山下 雅裕 君
『それこそ
ロータリー』



【ビジター・ゲスト紹介】

公益社団法人多摩市文化振興財団
理事長 高橋 尚子 様

多摩信用金庫 高幡不動支店
支店長 若林 裕美 様

【出席報告】

倉林 弘明 委員

【ニコニコ報告】

図子 久雄 委員長

【委員会報告】

指名委員会
ロータリーの友紹介
カラオケ同好会

【卓話】

公益社団法人多摩市文化振興財団
理事長 高橋 尚子 様



お弁当：
「光の家」

④高幡不動尊より、萬燈会の證が届いておりますので、各自のメールボックスに入れております。

【指名委員会】 松浦 信平 委員長

来年度(2024-25年度)の役員理事候補者について今年度の指名委員会で候補者を指名いたしましたのでご報告いたします。次年度の会長候補者：遠藤力さん、会長エレクト候補者：森原豊さん、副会長候補者：倉林弘明さん、そして次年度のその他の役員理事候補者として阿野正揮さん、柴田健介さん、石場裕美さん、小倉裕美さん、山口徹雄さん、山下まんぼうさん、西山尚之さん、北村淳さん、以上11名です。この方々について来週の例会(年次総会)で次年度役員理事候補者として選任することについて議決をして可決されれば正式に決定をするということになります。以上ご報告です。



【ロータリーの友紹介】 小島 馨 会員

今日はロータリーの友で私にとっても皆さんにとっても重要なことが書かれています。「認知症を知り、共に生きる地域づくり」ということで福井フェニックスRCの松原先生が詳しくご説明しております。認知症は年齢とかに関係なくいろいろな要因でなります。どれにも該当しない人はほとんど無いと思います。まずこれから自分たちが健康で生きるということは自分の悪い箇所を自覚することだと思います。周りから言われるのではなく、自分が血圧が高いとか、コレステロールの数値が高いとか、考えながら常日頃行動して、ご自分が自覚して、皆さんに迷惑をかけないのではなく、迷惑を皆で共有しながら楽しいクラブ生活を送りたいと思います。



【カラオケ同好会】 森原 豊 会員

本日6時からカラオケ同好会を行いたいと思います。天狗に6時に集合をお願いいたします。忘年家族会の後もカラオケに行きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



【卓話：組織で働いて学んだこと】

公益財団法人多摩市文化振興財団 理事長 高橋 尚子 様

1986年に＜たましん＞に入社し様々な業務を経験しましたが、その中で転機となったのは、育児休業の取得、コンサルティング専門のすまいるプラザマネージャー、そして支店長への登用であったと思います。

ロータリーの会員の皆様は地域に根を張ってお仕事をされていると思います。ご自身のお仕事を振り返ったときに記憶に残っている場面というのは困難を乗り越えた時や無理だと思ったことを成し遂げた時ではないでしょうか。

私自身は困難に直面したとき発揮できた力はレジリエンスだったと思っています。何か物に圧力がかった時に元に戻そうとする力、折れない心とも言います。壁に直面したときに強硬突破しようというのではなく一応挑んでみて、じわりじわりと征服していったのはこのレジリエンスだったのではないかとと思っています。

社会人として昭和、平成、令和と働いて参りましたので、どうやって男性を追い越してきたの？と冗談交じりで言われるのですが、基本的には人と競争したり、比較されたりすることない環境で中学から大学まで一貫校で育ち、友人関係の悩みも抱えることなくのんびりと過ごしたような気がしております。そんな私の最初のターニングポイントは社会に踏み出す時、自分で企業を選び、そして会社を選んでもらわなければならないシーンでした。今のようキャリア教育という言葉も概念もなく、自分の知っていることだけで未来を描けるほどの情報もなく、長く働き続けるという選択をして企業選びをする心構えも持ち合わせていませんでした。

多摩信用金庫は当時から女性の活躍のフィールドを増やし、年金の知識を持ってセカンドライフのお客様の相談に乗るという専門的な仕事がありました。当時、たましんの人事の方が、これからは女性の活躍に期待しているのだと言っていたので就活の学生にとっては光が差した瞬間でした。

入社した1986年に男女雇用機会均等法が施行されました。採用、研修、昇進昇格、給与も性別で判断してはいけないという法律で、入社後も男女同じ研修を受けることができました。制度が背中を押してくれたタイミングで社会に出られたのかなと思っています。金融機関というのは入社してから想像以上に勉強しなくてはならなかったり、先輩の指導が厳しかったりギャップだらけでしたが3年間は頑張ってみようと思い、結婚に至った時にはどうやら仕事を



続けて行けそうかなという気持ちになっていました。

当時産休制度はありましたが産前6週間・産後8週間で職場復帰など出来ないし、周囲に経験者の先輩もいない環境でしたが出産のタイミングで育児休業制度が出来たのです。企業は労働者から育児休業の申し出があったら最長1年間それを認めることを義務化した法律です。しかしながら実際に子供をおいて仕事に出ることなど想像できなかったのので取得する意思はありませんでした。

その時に背中を押してくれたのが女性の先輩で「これまで新人を一人前に教育しても出産で離れてしまう。あなたが取ってくれないと後が続かない」と言われ自分が出来る範囲の中でやってみようとして育児休業を取ることに決めました。30年前の話ですが当時から待機児童問題があり、保育園は利用できず母親に息子を預けて私は職場に復帰することにしました。当時は短時間勤務制度というものはなく、残業も受け入れなければ働き続けることは難しい時代でしたが、周囲に理解がなかったという問題ではありません。ワークライフバランスと言われはじめたのはほんの最近のことです。

復帰後は育児と仕事の両立なので仕事5・家庭5でいだろうという気持ちでしたが、実際には仕事7・家庭3でなければ仕事はやりきれないことがわかりました。そのためには効率化と自分の能力を上げていくしかありません。全てはスピード感を上げる、と言う感じで一つのステップが終わるとまた次の階段が来てなんとなく翻弄されながら日々を過ごして行っただのが復帰後の私の生活です。

貯蓄から投資へと世の中が変わりお客様も年金に頼っていは生涯設計がままならない時代になってきました。＜たましん＞では暮らしに関わる様々な相談を受けるコンサルティング特化型の「すまいるプラザ」という組織を立ち上げることになりました。夜間営業、土日営業というスタイルでお店をつくることになり管理職として私はこのマネージャーに任命され、入社3,4年の部下と女性4人で新しい店を立ち上げるることになりました。配属してもらった女性職員は年金相談専門のシニアアドバイザーとして私よりもお客様の懐に飛び込んでいった実務があり、この形態の店舗が成功するかどうかは私のマネジメント次第なのだと思います一歩踏み出す覚悟ができました。といってもこの形態は＜たましん＞でも初めてでしたのでノウハウが全く無いのです。分からない者同士4人が頭を突き合わせていたところで全く進化がないので私は役割分担をしました。一人は資産運用担当としてこれから必要となる投資信託や保険などの知識取得、地域のお客様向けセミナーの講師探し、コンサルティングに必要なツール選び等を依頼しました。もう一人は相続担当として、今後幅広い相続についてのご相談に答えられるように顧問税理士のところに鞆持ちで行ってその生業をフィードバックしてもらいました。またもう一人はくらし住宅担当として今後エコ住宅とかバリアフリーが必要になるので建築家とのネットワークやサ高住の仕組みを勉強して欲しいということで3者3様に役割を決めました。私は事業計画を作り運営の方向性など社内でコンセンサスを得ていきました。女性4人で始めたすまいるプラザですが、こちらから働きかけていくと協力者が自然と現れ、小さな組織ですが今は9拠点になっています。所属している職員も40名を超え地域に受け入れられたかなと思っています。

会社組織では自分でやりたいという仕事があってもミッションが与えられなければ出来ません。一方で自分にはこなせないだろうという仕事も受け入れなければならない時もある。支店長職は私にとって意図していないミッションで、支店長は自分が仕えるもので自分がやる者では無いと言う固定概念がありました。ただ冷静に考えるとそもそも失敗するような仕事を与えられる訳ではないので期待に応えなければいけないと思ったのと同時に、支店長は店を預けられているのであれば本来は自分一人でやればいいのか、ただ物理的にも無理なので部下を付けてくれていると考えると職責の理解度が広がりました。^[註] 女性の支店長なので皆で協力してフラットな感じでやりましょうというのが周囲に期待されている姿だと思うのですが、支店内は組織的なピラミッドがしっかりと出来ていると思いました。預金・融資・営業と専門の課長が居てその上には副支店長、そしてトップに支店長が居る。このピラミッドを潰してはいけない、指令系統をあいまいにすると職員が混乱しますので、基本的に私は役割分担と順列を大事にしました。

何より心配だったのは地域のお客様が初めての女性支店長を受け入れてくれるかどうか、おりしも100年に一度の金融危機と言われた時でリーマンショックの後です、女性の支店長が来て自分の事業がどうなってしまうのかと思うのです。ですけれども地域のお客様から言われたのは、この厳しい時代に女性の支店長を出すことがすばらしと。そのような考えを持っている＜たましん＞の理事長はすごいねと言われました。私がどうこうではなく、企業の姿勢を誉めていただきました。信用金庫はそのエリアで根を張って仕事をしているので本当に地域のお客様に支えられて今まで成ってきた、だから私ではなく歩んできた今までの男性の支店長の功績でもありまた一緒に伴走してくれた地域のお客様のおかげだと思っています。

私の後に女性の支店長が6名輩出され、今日お招きいただいている若林も最新の支店長です。それぞれ歩んできたキャリアは違い、彼女の場合は実務経験もありますし本部で人材育成の経験もあります。共通して言えることは彼女たちの考え方にバイアスが無いことです。非常に真摯に素直に物事にチャレンジして、芯が強く自分なりの道を突き進んでいるのだと思っています。当然これから女性の支店長が増えなければいけない時代だなと思っています。

さて、これは働く女性のデータなのですが、女性の労働率を世代ごとに表したグラフです。縦軸が労働力率で横軸が

15歳から70歳まででどのくらいの方が働いているのだろうかと言うグラフです。日本では結婚や出産で30代で一旦職を離れるということがかつては凹んでいました。凹んでいるところからM字カーブと呼ばれるのですが、この底がどんどん上がってきておりまして直近だとM字でなくなっています。欧米並になっています。これは働く環境が整ってきて働く女性が増えて来たと言うことなのですから、この裏には違うデータがあると思うのです。今育児休業から戻ってくると時短勤務というのがありフル勤務ではない働き方があります。育児休業制度も最長2年間となり、そのうち第2子が生まれたまた時短を取ってを繰り返していると薄ら10年間しっかりとした仕事が出来ない。その中でステップアップというキャリアを手放さなければいけないのはどうしても女性に降りかかっている。男性の育休も増えていますが育児や家事の負担は今だに女性なのでキャリアを諦めなければならないのはまだまだ女性にあるかなというのが裏の数字だと思います。働く女性の苦悩がM字カーブ改善の裏にあると思います。[註] 先行きが見えない時代、女性自身も精神的な自立とともに生涯年取ということで考えた時に経済的に自立しなければ平等ではなく、働く女性は増加していますが指導的立場の人材が少ないという課題があります。当然ながらそういうポジションに着いた時には責任は付加されますが逆に自分で判断できる領域が非常に広がります。逆に言うと自由度が増すと私は思っています。その自由を女性も手に入れて欲しいと思います。

ご紹介しているのはシェリル・サンドバーグさんという2008年にフェイスブックで初めて女性の役員になった方です。この方がこの本の中で言っているのが、女性自身が「女性だから」と身を引いてしまうのではなく男性と同じテーブルに付きましようと言うことで、非常に頷きながら読ませていただきました。前に踏み出す、考え抜く、チームで働く、これは女性ばかりではないですが組織の中で働くにあたってはこう言った事柄を胸に、チャンスが来た時は見逃さないで欲しいとくたましん>にいた時に女性職員向け研修で言わせていただきました。自分はまだその段階ではないからとか、今の仕事を成し得ていないからということで躊躇する人がすごく多いのです。でもそう言う時の為に何かオファーがあった時にきちんと受けられる為に今準備しておきなさい、というお話をさせていただいたことがございます。

長く働いていても、ストレスは当然降りかかってきます。皆さまのような企業の代表の方はストレス耐性が強いと思うのですが、私はそういう状況になった時には自分を俯瞰で見て切り替えます。

ストレスを回避力するスキル、私の場合は適度な「鈍感力」であると自己分析しています。繊細さにかける部分も多々ありますが、それで救われているのではと思う今日この頃です。レジリエンスと鈍感力を備えることによってなんとなく突き進んで来た様な気がしております。

最後になりましたが、今の私の職場です。お手元にチラシを配布させていただきましたが、金融から芸術文化への分野にシフトした訳なのですが、こういった公的な複合施設は高度経済成長期に建てられたものが多くて維持管理も含めて財政の負担となっているのが現実です。

従来は行政が担っていた施設運営に民間の経営ノウハウの活用が可能になって持ち味を活かして再建してゆこうという動きが全国各地で起きていて、パルテノン多摩もその一つです。2年間の改修工事を終えてとても綺麗になっています。私の今まで最も接してこなかった芸術分野なのですが、信用金庫で働かせていただいていたいくつかの建物の中でチャレンジしてみたいことを今思い巡らせているところです。都心に行かなくてもN響を見ることができますし、万作・萬斎さんも鑑賞できるということで、この規模の施設は単独行政だけが負担せずに、広域連携で利活用していくのが理想ではないかと思っている次第です。

私にとって今年は慌ただしく新しい出会いもあった1年間でした。こうしてロータリークラブの皆様の前でお話するような責務を担わせていただき、感謝申し上げます。これも何かのご縁でございますので今後ともよろしくお願いいたします。



ロータリーの中核を成すのは、奉仕、友情、多様性、高潔性、リーダーシップを大切にする会員です

ロータリークラブには、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な変化を生み出した
いと願う多世代の人たちが集まっています。世界中のロータリーとローターアクトの会員は、人助
けのために行動する仲間や地域の人たちとのつながりを深めながら、大都市から小さな村にいたる
まで、それぞれの地域社会に変化をもたらしています。

【出席報告】 倉林 弘明 委員



	会員総数 (出席免除数)	出席総数 (免除者出席数)	MU	欠席	出席率
本日報告(11/29)	34 (0)	23 (0)	3(0)	8	76.471%
前回訂正(11/23)	34 (0)	14 (0)	5(0)	15	55.882%
前々回訂正(11/13)	34 (0)	22 (0)	4(0)	8	76.471%
前々々回訂正(11/8)	34 (0)	21 (0)	4(0)	9	73.529%

<事前の MU>

阿野 正揮 (クラブ研修)

伊東 秀章 (クラブ奉仕)

遠藤 力 (理事会)

<前回の MU>

阿野 正揮 (理事会)、熊井 治孝 (クラブ研修)、図子 久雄 (クラブ奉仕)、松浦 信平 (理事会)、山下まんぼう (理事会)

<前々回の MU>

石場 裕美 (クラブ奉仕)、西山 尚之 (指名委員会)、高城 秀一 (ローターアクト委員会)、山下 雅裕 (ローターアクト委員会)

<前々々回の MU>

岩田 和頼 (もみじ灯路実行委員会)、野村 圭伊 (指名委員会)、小島 馨 (クラブ奉仕)、柴田 健介 (クラブ奉仕)

【ニコニコ報告】 図子 久雄 委員長

本日のニコニコ： 10,000 円／累計 264,601 円

ビジターフィー： 0 円／累計 33,000 円



北村 淳 君 高橋様、若林様、本日はようこそお越しくださいました。卓話をお楽しみにしております。
岩田 和頼 君 先月のもみじ淡路の際の移動例会にご参加いただいた皆様本当にありがとうございました。15
名の参加で¥89,000-集金させていただき、支払いが¥83,000-でしたのでここにニコニコさせ
ていただきます。
疋田 久武 君 高橋尚子様本日はお忙しいところをありがとうございます。卓話を楽しみにしております。

東京日野ロータリークラブ会報

事務局：〒191-0031 東京都日野市高幡 3-8 田中ビル 3 階

Tel: 042-594-3711 fax: 042-593-0510

例 会：毎週水曜日 (12:30 より) 例会場：高幡不動尊客殿

URL: <http://www.hino-rotary.org> 桃源院青雲 5 階(2023.7.1~)

メール: info@hino-rotary.org

会長：北村 淳 幹事：伊東 秀章

会報委員会：山口 徹雄 (委員長)

疋田 久武 (副委員長)

小島 馨

菅原 直志

山下 雅裕